ハザードマップの活用方法について

①地図上で住んでいる場所と予想される浸水の深さを確認しましょう

このハザードマップには、予想される浸水の範囲と深さがランク別に色分けされています。
自分の住んでいる場所は浸水の危険があるのか、予想される浸水の深さはどれくらいになるのかを確認しましょう。ただし、浸水の予想は、この通りにはならないことがあります。

②避難所・待避所を確認しましょう

自分の住んでいる地区で指定されてる避難所・待避所がどこにあるかを確認しましょう。

③避難経路を考えてみましょう

ハザードマップで自分が住んでいる場所から避難所まで、どの道を通れば良いか、避難経路を地図上で確認しましょう。地図上での確認が済んだら、実際に避難所まで歩いてみましょう。
安全で歩きやすい道を選び、避難所までの経路を確認して、所要時間も計ってみましょう。実際に避難するときは、夜間・大雨・大人数での移動が考えられるため、所要時間は平常時の倍以上かかる可能性があります。

④家族や周辺住民と情報を共有しましょう

ハザードマップは家族と一緒に確認しましょう。地震、台風や大雨により、避難が必要になったときは、周辺住民、親戚、知り合いなどにこれから避難することと避難先を伝え、どこの施設に避難しているのか分かるようにしておきましょう。
安否確認には、災害用伝言ダイヤル（171）の利用も有効です。

浸水ランクの目安

水防法改正後（平成29年6月）の浸水深ランクの目安をお知らせします。
ただし、建物や土地の状況により浸水による被害は異なります。

家屋イメージ

浸水深と目安	
10 ～ 20m	5 ～ 7 階が浸水する程度
5 ～ 10m	3 階の全てが浸水する程度
3 ～ 5m	2 階の全てが浸水する程度
0.5 ～ 3m	1 階の全てが浸水する程度
～ 0.5m	大人の膝まで浸水する程度

浸水前の行動指針	浸水後の行動指針
◎立ち退き避難	――

3.0m 以上の浸水想定エリアの場合、家屋の2階以上も浸水することが想定されますので、浸水前段階を含め、早めの避難を心がけてください。

◎立ち退き避難△自宅待機（垂直避難）	△自宅待機（垂直避難）

自宅待機（垂直避難）の場合、浸水が長時間に及ぶ場合も想定されますので、日頃から十分な備えを心がけてください。

○立ち退き避難	○自宅待機（垂直避難）	○自宅待機（垂直避難）

浸水が長い場合でも、浸水後の避難は危険です。日頃から十分な備えをお心がけください。

※地図上で着色のない区域でも河川や水路の近くなどにお住いの方は、日頃より浸水があった場合を想定し、自ら対応や備えをしておきましょう。

その他の掲載情報について

土砂災害（特別）警戒区域

- 土砂災害（特別）警戒区域は、群馬県で調査したデータ（急傾斜地・土石流）を 基に掲載しています。
- 土砂災害（特別）警戒区域は、現地調査等により把握されたものです。地図表示されている箇所以外でも土砂災害が発生する可能性があります。

避難所・待避所

- 災害が発生した場合、又は発生する恐れがある場合に避難する場所です。
- この浸水想定図により、洪水・その他の災害等における自宅周辺・勤務地の避難所の確認等をしてください。
- 施設・場所によっては浸水想定区域内にあるものがあります。避難に際しては状況を確認し避難してください。

風水害について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

強風注意報 暴風警報

大雨注意報
大雨によって被害が起こるおそれがあると予測される場合。

大雨警報
大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

雨の強さと降り方

1時間の雨量(mm)	予報用語	雨の降り方、災害発生状況
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り。側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる、山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、都市では下水管から雨水があふれる。危険地帯では避難の準備が必要。
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のようにゴーゴーと降り続く。都市では地下室や地下街に雨水が流れ込むことがある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

平均風速(m/s)	おおよその時速	風圧(kg重/m2)	予報用語	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	車に乗っていて	建造物の被害
10以上15未満	～50km	～11.3	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れる。電線が鳴る。	道路の吹き流しの角度、水平（10m/s）、高速道路で車用車が横風に流される感覚を受ける。	取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15以上20未満	～70km	～20.0	強い風	高速道路の自動車	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	小枝が折れる。	高速道路では、横風に流される感覚が大きくなり、通常の速度で運転するのが困難となる。	ビニールハウスが壊れ始める。
20以上25未満	～90km	～31.3	非常に強い風		しっかりと体を確保しないと転倒する。		車の運転を続けるのは危険な状態となる。	鋼製シャッターが壊れ始める。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25以上30未満	～110km	～45.0			立っていられない。屋外での行動は危険。	樹木が根こそぎ倒れ始める。		ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外外装材はがれ、飛び始める。

地下道（アンダーパス）に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。
大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。
地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。

洪水災害について

水防法に基づき、ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

大雨情報をキャッチ！こんなときのわが家の安全対策。

強風注意報・暴風警報
強風注意報：平均風速が13m/s以上予想される場合
暴風警報：平均風速が18m/s以上予想される場合

大雨注意報
大雨によって被害が起こるおそれがあると予測される場合

大雨警報
大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合
記録的短時間大雨情報｜時間に雨量100mm

大雨特別警報
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合

暴風特別警報
数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

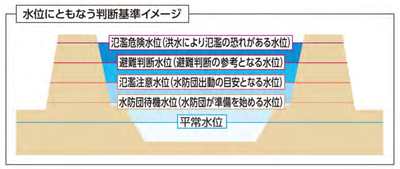
警報・注意報等の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報（気象庁）
- 洪水によって災害がおこるおそれがある場合、その旨を注意して行う予報。

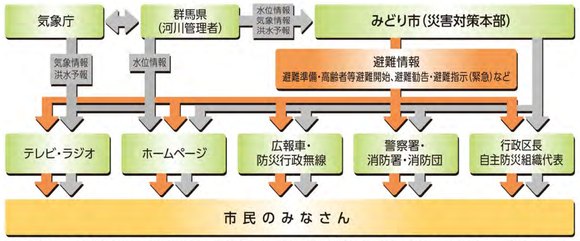
洪水警報（気象庁）
- 洪水によって災害がおこるおそれがある場合、その旨を警告して行う予報。

水位にともなう判断基準イメージ



洪水情報の伝達ルート

気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



※情報がなくても、異常気象（雷雨や異常な降雨）を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

土砂災害について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所、避難所、避難経路を確認しておくことも重要です。

土砂災害の種類

がけ崩れ

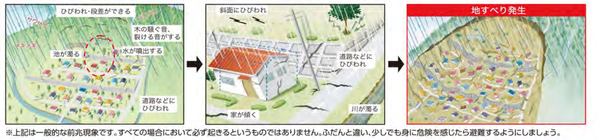
地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。

土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、群馬県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っていく予定です。

土砂災害 特別警戒区域（レッドゾーン）	建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域（イエローゾーン）	土砂災害のおそれがある区域

避難情報を正しく知って避難しましょう！

危険度 高

発令情報	発令状況	住民の皆さんの取るべき行動
5 災害の発生	災害が発生した状況です。	命を守る最善の行動
4 避難勧告 避難指示（緊急）	被害が発生する危険度が**非常に高い**、あるいは被害が発生し始めた状況です。	速やかに避難
3 避難準備・高齢者等避難開始	被害が発生する危険度が**明らかに**高まった状況です。	高齢者らは避難
2 注意報（気象庁）	被害が発生する危険度が高まった状況です。	避難所や経路を再確認
1 警報級の可能性（気象庁）	気象庁から注意報などが発表されている状況です。	最新の気象情報などに注意

※ 必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。
※ これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

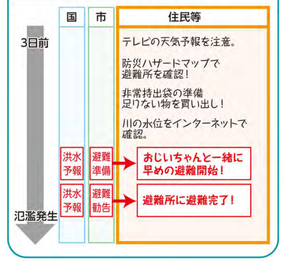
マイ・タイムラインをつくろう！

マイ・タイムラインは一人ひとりのタイムラインで、台風の接近によって河川の水位が上昇するときに、自分がとる防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたものです。

→ マイ・タイムラインができると…
災害時の行動の漏れを防止
災害時の判断をサポート
→ マイ・タイムラインの検討の過程で…

例えば・・・

●●くんの　マイ・タイムライン



リスクを認識できる
- 自分の家が浸水してしまう
- 避難所まで遠いなど

逃げるタイミングがわかる
- いつ逃げる？
- 誰と逃げる？
- 危険な場所をよけて逃げるには？

コミュニケーションの輪が広がる
- 検討会での意見交換などで、知り合いになれる
- ご近所とのつながりが強く、太くなる

土砂災害の予防策

◎日頃から避難する場所や道路などを確認しておきましょう。
◎所有地内にがけがある方は、がけの周辺を見回り、次のようなことを心がけましょう。

非常時持出品の準備＆チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、
日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品（例）

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

非常時用備蓄品（例）

災害復旧までの数日間（最低限3日、推奨7日）を生活できるようにチェック☑しましょう。

みどり市ホームページ

防災・防犯・市政の情報を掲載しています。　URL http://www.city.midori.gunma.jp/

みどり市防災・防犯メール

防災・防犯の地域情報をメールで受け取ることができるサービスです。

空メールによる登録
t-midori@sg-m.jp

みどり市防災行政無線テレフォンサービス

屋外スピーカーの放送内容が聞き取れなかった場合は、放送された内容を電話にて、確認できます。

0277-32-3377

わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してもらいたい方や、利用してもらいたい「わが家の情報」です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・市に情報を提供します。

氏　名		電　話	
住　所		メール	
避難所（家族が集まれなくなった時の避難所）	みどり市		

家族構成連絡先

氏　名	生年月日	電話（携帯・会社・学校）	住　所	メ　モ

家族の緊急情報・救急メモ

氏　名	血液型	持病・アレルギー	常備薬	かかりつけ医療機関

【メモ】※書きされなかった内容や、知ってほしい情報（介護情報・救急隊員への伝言など）をお書きください。

緊急時連絡先

氏　名	間柄	電　話	住　所	メ　モ

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは？　NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-XXXX-XX-XXXX（被災地の方の電話番号）	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-XXXX-XX-XXXX（被災地の方の電話番号）	伝言蓄積数	1電話番号あたり20件以内
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話（050含む）、携帯電話、PHS

災害用伝言板（携帯電話・パソコン用）

登録方法	・iMenu ※1 ・EZトップメニュー ・Yahoo!ケータイに表示される 「災害用伝言板」を選択	「登録」を選択	「無事です」などの状態を選択し、100文字以内のコメントを入力する。	「登録」を押して完了
確認方法		「確認」を選択	確認したい人の携帯電話番号を入力する。	「検索」を押して確認

アドレス
NTT ドコモ　http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi　※1 ドコモスマートフォンでは災害用キットアプリのメニューを選択
au KDDI　http://dengon.ezweb.ne.jp
ソフトバンク　http://dengon.softbank.ne.jp

問い合わせ先　みどり市 危機管理課　Tel：0277-76-2111（代表）　令和元年9月作成